

たのしい

2017.11.16

サイエンス通信 (26)

異常気象と防災について

異常気象とは、気象や気候が、平均的状态* から大きくずれて、その地域や時期には平常現れない現象または状態のことです。

*平均的状态とは、過去30年間の統計より算出します。

平均値は、10年ごとに発表しているため、基準となる平均値も変化しています。

様々な異常気象

雨の異常気象

大雨の発生回数は増加傾向にあり、短時間の大雨が増えている。

原因…気温上昇により、飽和水蒸気量が増加しているから。

風の異常気象

台風が強くなり、強風・高潮災害のリスクが高まっている。

原因…海面水温上昇により、水蒸気の供給が多くなっているから。

気温の異常気象

世界の年平均気温は長期的に上昇している。

原因…人間活動により発生したCO₂などの温室効果ガスの影響による。

雪の異常気象

豪雪と少雪がある。

原因…日本付近で、偏西風が南に蛇行すると豪雪、北に蛇行すると少雪となる。

海の異常気象

観測から、海面水位が上昇している。

原因…海水温の上昇で、極域(北極・南極)の海水の融解が起こっているから。

また、海洋の熱膨張があるから。

防災

異常気象から身を守るには、気象庁から段階的に発表される防災気象情報(※1)について理解し、異常気象時に出された避難情報(※2)によって、どのように行動すべきか知っておくことが大切です。

※1 第一段階

気象情報…警報や注意報に先立って注意を呼びかける。

第二段階

注意報…災害が起こるおそれのある時に注意を呼びかけて行う。

第三段階

警報…重大な災害が起こるおそれのある時に警戒を呼びかけて行う。

第四段階

特別警報…警報の発表基準をはるかに超える豪雨などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に最大限の警戒を呼びかけて行う。

※2 第一段階

避難準備情報…避難の準備。高齢者や避難に時間がかかる人や危険な地域に住んでいる人に早めの避難を促す。

第二段階

避難勧告…一刻も早く避難することを勧める。

第三段階

避難指示…強く避難を促す。

日頃から自宅などの周辺の危険な箇所や避難経路、避難場所をハザードマップ(災害の被害等の予測を表わした地図)で確認しておきましょう。

防災には3つの助、「自助」「共助」「公助」があります。

自助とは、自分の命は自分で守るということ。

共助とは、家族や地域社会で助け合うこと。

公助とは、公的機関による救助・支援のこと。

なによりも大切なのは、一人一人の防災意識です。(コ)

参考図書 トコトンやさしい 異常気象の本

一般財団法人日本気象協会編 発行所 日刊工業新聞社